

I 博物館管理の概況

1 本館の沿革

- 昭和22年4月1日 鳥取県立公民館規定の制定により鳥取県立図書館内に鳥取県立公民館が併置され、図書部、科学部、集会部がおかれた。科学部は「科学研究館」として運営された。
- 昭和24年7月1日 鳥取県立公民館規程が廃止され、鳥取県立科学館設置条例に基づき「鳥取県立科学館」が設置される。
- 昭和24年7月23日 仁風閣に移転。
- 昭和27年4月 昭和26年12月博物館法の施行により、同法に基づく博物館相当施設として文部大臣の指定を受ける。
- 昭和27年5月17日 登録博物館となる。
- 昭和29年6月29日 鳥取県立科学博物館規定の制定により「鳥取県立科学博物館」と改称。
- 昭和39年9月7日 文化センター建設調査費を計上し、施設構想を検討。
- 昭和43年9月10日 文化センター敷地について、公設運動場と二の丸公園を充てることで知事と鳥取市長と合意。
- 昭和44年2月5日 県議会総務教育常任委員会で、鳥取市公設運動場に建設することに決定。
- 昭和44年4月2日 文化施設の建設促進のため、県に鳥取県立文化施設促進協議会を設置。
- 昭和44年5月30日 日建設計KKに建設構想図の作成を依頼。
- 昭和45年9月15日 鳥取県立博物館の実設計完了。
- 昭和45年10月20日 鳥取市が公設運動場を県立博物館の建設敷地として県に無償譲与。
- 昭和45年10月20日 建設工事着工。
- 昭和47年4月1日 鳥取県立科学博物館を「鳥取県立博物館」と改正、組織も、管理課（庶務係、設備係）学芸課（学芸係、美術係、史料係）と二課制に拡充。
- 昭和47年5月31日 建設工事竣工。
- 昭和47年10月1日 鳥取県立博物館竣工式、開館式挙行。

2. 施設の概要

規 模

構造	鉄筋コンクリート造	地下1階	地上2階1部3階
規模	敷地面積		14,290m ²
	建築面積		3,576m ²
	床延面積		9,699m ²
		地階	2,668m ²
		1階	3,623
		2階	2,606
		3階	706
		屋上階	58
		屋外倉庫(別棟)	38
		計	9,699m ²

各室床面積内訳

(地階)					
資料保管庫	317m ²	燻蒸室	18m ²	炭酸ガスポンベ室	43m ²
史料書庫	496	暗室	13	ホンプ室(2)	50
展示器材倉庫	97	監視盤室	118	警備(関係)室	31
準備工作室	159	発電機室	71	書類庫	10
倉庫(2)	82	電気室	67	作業員控室	9
荷解場	99	空調和機械室	727	便所	5
(1階)					
地学・生物展示室	515m ²	館長室	26m ²	休養室	17m ²
考古・民俗展示室	515	応接室	60	書類庫	10
美術展示室	260	管理課	68	便所(3)	64
喫茶・休憩室	182	学芸課	108	史料展示室	111
展示室倉庫(2)	40	会議室	58	史料研究・閲覧室	170
		休憩室(2)	66	倉庫(階段下)	110
(2階)					
(特別)第1展示室	515m ²	展示室倉庫(2)	40m ²		
第2展示室	515	休憩室(3)	88		
第3展示室	374	便所	30		
講堂・映写室	206				
会議室・控室	107				
(3階)					
収蔵庫(3室)	258m ²	資料保管庫	172m ²	予備資料室	60m ²

陳列壁面の長さ(特別展示室)

区分	壁面延長			延面積
	固定	可動	計	
第1展示室	80 m	105 m	185 m	515 m ²
第2展示室	83	134	217	515
第3展示室	65	62	127	374
計	228	301	529	1,404

主要設備

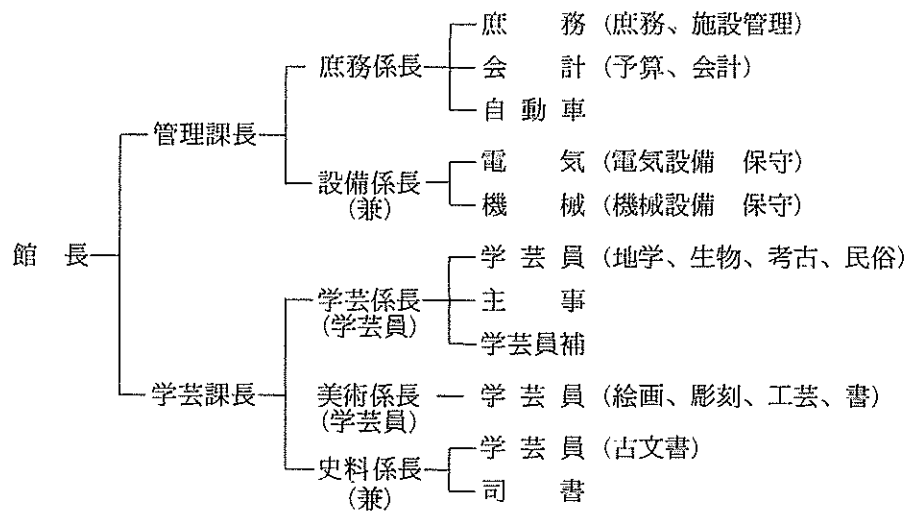
- (1) 全館冷・暖房、温度・湿度調和装置
- (2) 収蔵庫、常設、特別展示室、炭酸ガス消火設備 50kgポンベ112本
- (3) 予備発電設備 6,600V 250KVA
- (4) 盗難防止 超短波警戒装置 半径5m
- (5) エレベーター設備 人荷用 定員59名 積載荷重3,900kg 1基
- (6) 講堂映写機 16mm1台 8mm1台 スライド1台

建設費

単位千円

区 分	年 度				計
	44年度	45年度	46年度	47年度	
建築工事費		172,700	662,400	173,000	1,008,100
造園工事費				20,000	20,000
設計監理費	2,000	33,000	9,000	800	44,800
資料購入・備品購入費			3,300	46,700	50,000
工事雑費		3,816	800	1,530	6,146
合 計	2,000	209,516	675,500	242,030	1,129,046

3. 組 織



職員名簿 (49.3.31.現在)

館 長	西 本 真 一	学 芸 員	清 末 忠 人
管 理 課 長	川 下 裕 三	〃	鶴 田 憲 弥
庶 務 係 長	岩 本 武 夫	〃	山 本 賢 二
主 任 (主 事)	田 中 義 光	主 任 (主 事)	治 部 田 史 郎
〃	長 見 トキ子	主 事	市 谷 貴 志 子
主 事	山 根 道 子	学 芸 員 補	植 谷 勤
自 動 車 整 備 士	岡 田 晃 一	美 術 係 長	安 東 尚 文
設 備 係 長 (兼)	岩 本 武 夫	主 任 (主 事)	富 川 智
技 師	森 下 忠 久	主 事	三 谷 巍
〃	石 河 利 徳	史 料 係 長 (兼)	木 島 幹 世
〃	松 岡 弘 幸	主 任 (主 事)	山 根 文 子
学 芸 課 長	木 島 幹 世	主 事	福 井 淳 人
学 芸 係 長	山 名 巖		

4. 博物館協議会

委員名簿

種別	氏名	現職	住所	所属会	摘要
学校・社会教育関係	石谷 貞彦	県社会教育委員	八頭郡智頭町智頭	運営	
	近藤 久子	〃	日野郡日野町根雨	〃	
	兎島 恒吉	〃	鳥取市瓦町50	〃	
	山部 憲太郎	〃	鳥取市吉方町2丁目104	〃	
	木村 耕造	県高等学校長会 鳥取西高等学校長	鳥取市大工町頭22の1	〃	
学 識 経 験 者	藤本 節男	県文化財専門委員	鳥取市吉成249	〃	
	伊佐田 甚蔵	倉吉文化財協会長	倉吉市湊町	〃	
	小田 大吉	小田耳鼻咽喉科医院長	鳥取市西町3丁目105	〃	
	木島 善兵衛	県議会議員	八頭郡若桜町若桜749	〃	
	竹の家 啓三郎	〃	倉吉市明治町1018	〃	48.12.22任命
	岩田 滝夫	〃	気高郡気高町浜村	〃	48.7.25任命
	赤木 三郎	鳥取大学教授	鳥取市湖山町 鳥取大学白浜宿舎	自然	
	生駒 義博	県文化財専門委員	鳥取市寺町45	〃	
	越智 春美	鳥取大学教授	鳥取市湖山町 鳥取大学白浜宿舎	〃	
	江原 昭三	鳥取大学教授	鳥取市浜坂1491-5	〃	48.5.12任命
	佐々木 謙	県文化財専門委員	境港市中野町314	人文	
	手嶋 義之	〃	倉吉市広瀬町2637	〃	
	四宮 守正	〃	鳥取市金沢	〃	
	尾崎 悌之助	〃	鳥取市元魚町1丁目212	美術	
	川上 貞夫	鳥取文化財協会代表委員	鳥取市大榎町5の2	〃	
	桑田 忠之助	県文化財専門委員	倉吉市東仲町	〃	48.5.12任命
	山本 兼文	蒲生中学校長	岩美郡岩美町馬場	〃	
	大淵 晴雄	県書道教育研究会顧問	八頭郡八東町日下部	〃	
	徳永 職男	鳥取大学教授 県文化財専門委員	八頭郡郡家町宮谷	史料	
	浜崎 洋三	鳥取西高等学校教諭	鳥取市湯所町1丁目433	〃	
尾崎 繁夫	鳥取大学教授 県文化財専門委員	鳥取市西町2丁目111	自然	48.5.11辞任	
吉田 達男	県議会議員	岩美郡岩美町太田169	運営	48.7.24辞任	
広田 藤衛	〃	鳥取市元町367	〃	48.12.21辞任	
計	定員25名				

協議会 開催状況

全体会	1回	3月27日	
運営部会	1回	10月31日	
自然部会	2回	9月18日	12月8日
人文部会	2回	8月18日	12月18日
美術部会	2回	5月9日	7月10日
史料部会			
部会長会議	1回	10月31日	

5. 博物館の運営

予 算 (49年3月31日現在)

事業名		金額	摘要
1. 博物館運営費		22,475	
2. 博物事業業費	資料収集研究費	2,034	
	常設展示費	1,267	
	普及活動費	423	
	特別展開催費	1,450	世界の蝶展
	郷土視覚定点収集事業費	1,300	
	計	6,474	
3. 美術事業業費	資料収集研究費	21,907	
	常設展示費	796	
	日展開催費	5,438	
	日本伝統工芸秀作展開催費	450	
	郷土美術展開催費	2,027	
	計	30,618	
4. 史料事業業費	資料収集研究費	1,009	
	藩政資料整備費	1,816	
	計	2,825	
合計		62,392	

博物館の使用料

(1) 入館料

区分	金額	
	通常展示	特別展示
個人	児童又は中学校の生徒	1人1回につき 20円
	高等学校の生徒	1人1回につき 30円
	学生又は一般人	1人1回につき 50円
団体 (20人以上のものに限る。)	児童又は中学校の生徒	1人1回につき 10円
	高等学校の生徒	1人1回につき 20円
	学生又は一般人	1人1回につき 40円

1人1回につき 500円をこえない範囲内で教育委員会
が定める額

(2) 展示室等使用料

区 分		金 額			
第 1 展 示 室		1 日につき	15,000円	半日につき	7,500円
第 2 展 示 室		1 日につき	15,000円	半日につき	7,500円
第 3 展 示 室		1 日につき	12,000円	半日につき	6,000円
講 堂		1 日につき	6,000円	半日につき	3,000円
会 議 室		1 日につき	1,100円	半日につき	550円

備 考

- この表中「1日」とは午前9時から午後5時までをいい、「半日」とは午前9時から午後1時まで又は午後1時から午後5時までをいう。
- 暖房又は冷房をしたときは、この表に定める使用料の額に当該額の二割に相当する額を加算する。

開館時間 午前9時～午後5時

休 館 日 月曜日（その日が国民の祝日の場合はその翌日）

国民の祝日の翌日

（1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日までの日）

6. 入 館 者

常設展	特別展	普及活動 (講堂・会議室)	研究(相談)	許可利用 (展示室・講堂等)	合 計
55,723人	42,353人	1,700人	1,251人	67,546人	168,573人

常設展内訳

区 分 月 別	開館 日数	小・中学生			高 校 生			一 般			合 計			1日当 り入館 者 数
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	
4	28	1,355	2,000	3,355	385	23	408	3,234	468	3,702	4,974	2,491	7,465	266
5	25	840	2,835	3,675	118	4	122	3,114	664	3,778	4,072	3,503	7,575	303
6	26	486	946	1,432	172	—	172	1,636	918	2,554	2,294	1,864	4,158	160
7	25	635	67	702	177	—	177	1,588	909	2,497	2,400	976	3,376	135
8	27	2,179	119	2,298	494	27	521	4,414	139	4,553	7,087	285	7,372	273
9	26	1,459	343	1,802	150	—	150	2,110	302	2,412	3,719	645	4,364	168
10	29	568	5,386	5,954	98	110	208	1,630	719	2,349	2,296	6,215	8,511	293
11	25	564	2,393	2,957	80	50	130	1,685	621	2,306	2,329	3,064	5,393	216
12	23	152	—	152	41	—	41	491	21	512	684	21	705	31
1	22	202	2	204	53	—	53	659	30	689	914	32	946	43
2	24	302	23	325	102	—	102	882	170	1,052	1,286	193	1,479	62
3	26	1,341	175	1,516	239	—	239	2,448	176	2,624	4,028	351	4,379	168
計	306	10,083	14,289	24,372	2,109	214	2,323	23,891	5,137	29,028	36,083	19,640	55,723	182

特別展内訳

名 称	期 間	小・中学生			高 校 生			一 般			合 計		
		個人	団 体	計	個人	団 体	計	個人	団 体	計	個人	団 体	計
第4回日展 鳥取展	4月7日 ～29日	人 2,172	人 6,900	人 9,072	人 1,060	人 5,088	人 6,148	人 13,320	人 1,806	人 15,126	人 16,552	人 13,794	人 30,346
郷土展 美術展	9月30日 ～10月21日	2,002	3,790	5,792	326	1,138	1,464	4,288	463	4,751	6,616	5,391	12,007
世界の展 蝶	〃												
計		4,174	10,690	14,864	1,386	6,226	7,612	17,608	2,269	19,877	23,168	19,185	42,353

II 博物館事業の概要

1. 常 設 展

常設展示を構成する資料表

区 分	実物資料 標 本 類	ジオラマ 機器模型類	カラー透視写真 および写真	図 板	計
地 学	672	22	13	28	735
生 物	1,186	5	31	37	1,259
考 古	578	3	6	22	609
民 俗	222		19	17	258
美 術	84			1	85
史 料	75		22		97
計	2,817	30	91	105	3,043

(1) 地学展示室 (258㎡)

- ・ 本県の地形と地質について各種の模型で展示。
- ・ 県内の地質時代のできごとの解説と岩石の偏光投影観察装置。
- ・ 各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイトほか県内外の化石）。
- ・ 古生物を中心にした各地質時代の景観復元ジオラマ。七景。
- ・ 鉱物の特性の解説と分類展示と県内外の有用鉱物。
- ・ 温泉の地下地質と湧出する機構を示す模型。
- ・ 紫外線の照射による蛍光鉱物の発光実験。
- ・ 各種ウラン鉱物の展示と放射能測定の実験。
- ・ 砂丘と大山の地質的特徴とその生成発達の解説展示。
- ・ 化石、鉱物資料を新たに追加および入れ替えた。

(2) 生物展示室 (257㎡)

- ・ 大山と砂丘の生物の垂直及び水平分布とその特性。
- ・ 岩礁の生物の生態と分布のようす。
- ・ 中国山地に生息する主な動物をジオラマによって展示。
- ・ 頭足類、甲殻、魚類の分類展示。